

てらこや便利 わあい♪

2024. 3. 25 No.99

祝 今年度 修了!

体も心も大きくなったね。新しい春がくるよ。

奏汰, 宗慈, よりか, 弥八, いってらっしやい♪



4月8日(月)

新2~6年生 新年度スタート☆

通常通り9時~15時半

4月9日(火) はじまりの会♪

9:00~ ミーティング, 掃除&はじまりの会準備

10:00~ かほ, かいと, しょうま, しお
4名を迎えるはじまりの会♪

(参加できる方は, ぜひ一緒に!)

12:00~ おひるごはん
(持ち寄り1品)

~15:30 いつものてらこや

来年度は・・・

おうちえんからかほ, かいと, しょうま, しお
が加わり, 22名のてらこやです。

おひさまミーティング

教員時代は面談が苦手だった。その子の様子を伝えたくて、いろいろな作品やノートを見せながらエピソードを話して共有するのは楽しかったけど、30人以上いるおうちの人とそこまで近い関係ではないから、わたしにとっては難しいことも多かった。気になっていろいろを話すとき、どう伝えるのがその子やおやごさんにベストなんだろうと考えてしまい、やたら勇気が必要だったり。質問されて自分が答えたことが正解だったのだろうか(本当は正解とかないんだよって今なら思うけど)と気になってみたり。自分が見ている景色だけで、その子を語ることにこわさを感じていた。わたしの伝えたことがおうちの人のレッテルになる可能性も高いから。

そんな自信のないわたしにとって、おひさまミーティングはとても楽しい。おうちの人とスタッフがチームになって、その子に愛をもって意識を合わせる。おうち&てらこや、みんなの見える景色が融合されて、新しいその子の姿が浮かびあがってくる。知らない面を知れてうれしい。そして、そうか、確かにそんな面もあった!とか、今度はこんなこと誘ってみようとか、わたしもこんなふうに接してみようとか、アイデアも降りてきて早くこどもたちと逢いたくなってくる。スタッフ間の見方の違いもとても勉強になる。同じ景色を見ていると、捉えているところや解釈が違う。真反対の時もある。自分が心配しすぎてたなあとか、そうかあの時あの子はそんなふう感じていたのかも知れないんだなと、反省もありつつ、自分のフレームの枠が広がっていく。多面的な意見がたくさんあがるから、自分が感じていることをいうのもこわくない。逆にわたしからはこう見えたの~いろいろな違いや発見を感じあいたくて言いたくなる。

ジャッジやレッテル貼りではなく、村の子を村のみんなと愛をもって見つめているかんじ。おうちの人とスタッフとの愛のコラボレーション!今年度もおひさまミーティングに参加していただき、ありがとうございました。



*はじまりの会の昼食は、持ち寄りランチになりました。品数が多くなるので、量としては、ひとり一口食べられる程度でかまいません。どうぞよろしくお祈いします。(約40人)

旅立ちの日に寄せて・・・

まあみん

4人はタイプが全く違う。奏汰と宗慈なんてよくぶつかってもいたよ。それがいつの間にか4人は同じ方向を向いていたよ。2学期の途中からかな、4人とも最後の1年をやり切ろうやり尽くそうって、そんな思いが共通して感じられた。弥八がカレンダーをじっと見つめている後ろ姿に、奏汰や宗慈の企画力に、よりかの様々な挑戦や百人一首クラブへの熱量に。

4人はいつの間にかてらこやの幹になっていたよ。揺るぎない中核。年輪の中心。ミーティングでの発言、在り方、佇まい。中心が静かに、でも深くしっかりしているから、他のみんなが安心して自由に自分を出して動いていたような気がする。

よりかは大地だ。てらこやの母なる大地。ことば少ないのだけど、みんなにとってのよりどころ。よりかの一声は鶴の一声。みんなよりかが大好きだから、よりかを悲しませたくないし、なんとか力になって支えたいと思う。頑張り屋のよりかは、集中力とひたむきさで力をつける。鉄棒の練習の様子は今でも忘れられないし、ふっくんが書いていた「よりかには失敗がない、全てを自分の成長に変えていけるから。」その通りだと思う。

弥八は風だ。気持ちのよい風、時にはぬっぺりとした風になるときもあるけれど笑、良きムードメーカー。みんなの心を和ませてくれる。京都でも韓国でも何をやるわけでもないのいつの間にかみんなに好かれている弥八。それが弥八の持つ魔法の力。てらいちの宝くじで見せたきっぷのよさもやはちゃんの魅力だ。

宗慈は水だ。水といっても泉かな。生命の水。みんな宗慈にくっついて元気をもらっている。みんなのお兄ちゃん。宗慈は自分のこころを満たす方法を知っている。泉が枯れないように疲れたときは一人で集中して本を読む。思いつきり体を動かしてサッカーしたり、ギターやピアノを弾いて自分を潤す。そしてみんなの心も潤す。

奏汰は火。燃えたぎる炎。そのエネルギーが世界を変えていく。時にはその炎の強さにこちらがやけどしそうになるときもある。おき火になった奏汰の紡ぐ文章にあたたかいやさしさをもらうこともある。最後まであきらめず、自分を高めようと挑戦する力も人一倍。水が怖かった時代も気がつけば遠い昔。

4人の共通点はものごとを深く考えられること。ミーティングでの発言もはっとさせられることが多かった。そしてものすごく集中力。そしてそしてなにより、それぞれに揺るぎない自分があるのだ。4人それぞれの在り方でてらこやの幹だった。年輪の中心だった。もう安心して旅立ちを見送るのはわかっているけれど、せめてあと1ヶ月、せめてあと1週間、いっしょに過ごしたい。4人ともだいすきすぎて、涙がとまらないけれど、大きな世界にあってこい! いっぱいチャレンジしておいで! 自分を感じ、心の声を羅針盤にして、進め! 世界には美しいこと、すてきなことがたくさん待っているから♪だいすきだよ。いってらっしやい!

